



しらみず

いわき市立白水小学校
学校便り 第9号
平成29年11月27日
発行者 校長 遠藤隆宏

地域のみなさまに感謝・・・お話交流会

11月6日の学校一日公開日の中に、「お話交流会」を実施しました。地域のたくさんの方々にご参加いただき、昔の白水小学校の様子やくらし、戦争中の様子など、貴重なお話をたくさん伺うことができました。

戦争中のお話では、「いわきの平に焼夷弾が落とされ、空が真っ赤に見えたこと。」「低空で飛ぶ飛行機から機銃でたくさんの人たちが撃たれたこと。」「食糧を積んだB29が湯の岳に墜落したこと。」「白水地区は炭鉱が防空壕となったが、炭鉱がないところでは畑に掘った穴が防空壕だったこと。」など、体験した方でないといけないお話をたくさん伺うことができました。

昔の白水小学校のお話では、当時のアルバムを持ってきていただき、子どもたちに見せながら説明していただきました。今とは比べ物にならないほどたくさん子どもたちが学んでいた様子を写真を通して見ることができました。

4名の子どもたちのために、交流会には15名、その後の給食試食会には16名もの皆様にご参加いただきました。実に子どもの数の4倍もの皆様が来ていただけるこの白水地区のあたたかな皆様には、感謝の気持ちでいっぱいです。いつもは広々と感じる本校の多目的ホールが、狭く感じるほどの大盛況でした。

今回、伺ったお話を学習に生かして、また、地域の皆様からの励ましのお言葉を生かして、今後も子どもたちのためにがんばっていきます。今後とも、ご理解とご協力をお願いいたします。



特別な教科「道徳」が始まります



平成30年度から、道徳の学習が変わります。そこで求められているのは、物事を多面的・多角的に考え、場面によっては対立する意見があることを踏まえ、自分に置き換えて、考え、共に学ぶ仲間と議論する学習です。

その道徳科に向けて、白水小学校でも準備を始めています。そのひとつが「全校道徳」です。

本校は、少人数のため、学年単独では「議論する」環境をつくるのが困難です。そこで、全校生4名と、校長・教頭を含めた全教員4名が集まり、ひとつの場面を考えて意見を述べ合うというものです。

11月6日には、その一端を地域の方々にもご参観いただきました。

資料の内容

けん太の家は、両親共働きで、両親が不在の時には、友達を家に入れてはいけないというきまりがある。

ある日、友達のさとしといっしょに家の近くの公園で遊んでいると、突然、土砂降りの雨が降ってくる。友達のさとしを家に入れるか、入れないかをけん太は悩んでいる。

最初の意見では、「家の人におこられるから入れない。」「さとしがかぜをひいたら自分の責任になってしまうから入れる。」というような意見でした。そこで、互いの立場から質問のやりとりをしていきます。「雨という理由できまりをやぶっていいの。そうしたら、もっときまりをやぶることにならないかなあ。」「さとしは大切な友達だよ。その友達を助けないの。」などです。こうしたやりとりを経て、子どもたちの意見は少しずつ変わっていきました。

「困っている友達を助けるために家に入れたことを説明すれば、お父さんやお母さんもきっとわかってくれる。」「ぼくがさとしだったら、友達のけん太が家の人からおこられるかも知れないと思ったら、家には入らない。」などです。最初は、「おこられる」「自分の責任になる」という自分の被害を少なくする理由から、「分かってくれる」という信頼に関わる理由や「相手のことを考える」という思いやりに関わる理由に変わっていきました。

こうした変容は、みんなで知恵を出し合っよりよい解決方法を見出そうとしているからこそ見られるものです。これからも、全校生で話し合う活動を取り入れていきたいと思っています。



白水小学校「〇〇の秋」 今年の充実した秋を振り返って・・・

秋は何をしても気持ちがよく、そして集中できる季節です。また食物が実る季節でもあり、寒い冬に向けて栄養を蓄える時期でもあります。白水小学校でも、いろいろな秋を満喫することができました。

○食欲の秋・・・全校野外炊飯体験 9月29日

さわやかな秋晴れに恵まれたこの日、全校生で分担をしておいしいカレーと味噌汁を作りました。宿泊学習で体験できなかった野外炊飯を組み合わせて、薪を使って火をおこし、まずはおいしい焼き芋を作って食べました。その後、ごはん、カレー、味噌汁を分担して作り、外にテーブルを広げて、みんなで食べました。協力して作った経験、秋のさわやかな空気が合わさって、いつもよりもおいしく感じられました。



○勉強の秋・・・いわき市教育委員会訪問 10月27日

いわき市教育委員会、いわき教育事務所、福島県教育委員会の方々が本校にお出でになり、子どもたちの授業の様子を見ていただきました。少人数で学ぶ授業のあり方や、文字をていねいに書くための指導のあり方など、本校で課題としている部分についてご指導をいただきました。今後の指導に役立てていきます。

○スポーツの秋・・・校内持久走記録会 11月16日

1学期から毎朝、体力づくりに向けてマラソンの練習に取り組んできた子どもたち。11月16日には、その成果を試す「持久走記録会」が行われました。子どもたちの記録は、昨年度を大きく上回り、その成長の大きさには、私たち教員も驚かされました。

走り終えた子どもたちは、苦しそうな中にも、自分の目標を達成できた満足感に包まれていました。



○芸術の秋・・・いわき市美術展作品完成

4人の子どもたちの絵が完成しました。市の美術展に出品したいと思います。

細部にまでこだわって
ていねいに仕上げた
力作ぞろいです。



○読書の秋・・・全校読書 毎朝8時まで

本校では、毎朝登校すると、全児童と全職員が一同に集まって静かに読書をします。5分から10分間のこの時間は、ページをめくる音だけがかすかに聞こえるだけの静寂な時間です。

また、月に2回、英語の授業をいただいているテス先生は、お昼休みに英語の本を読んで聞かせてくださいます。月に1度、地域の箱崎さんも、子どもたちのために本の読み聞かせをしてくださっています。



○チャレンジの秋・・・内町小学校との合同学習 11月10日

この日、3年生が内町小との交流学习を行いました。1学期に5、6年生は実施したのですが、3年生は初めてです。新たな挑戦です。朝から緊張気味でしたが、いっしょにマルトの見学をして、お弁当を食べて、いっしょにお掃除もやって、体育の授業にも参加してきました。

たくさんの友達といっしょに学ぶ初めての経験。緊張感があって疲れたようでしたが、これから役に立つ貴重な経験になりました。

○体験の秋・・・コミュタンふくしま見学学習 11月22日

三春町の「コミュタン福島(県環境創造センター)」の見学に出かけました。放射線を実際に測定したり、震災の時に原子力発電所にどんなことが起こったのかを資料を通して学んだりすることができました。


午後には、あぶくま洞によって、鍾乳洞の中を散策してきました。県の補助事業を活用して、貸し切りバスで一日、校外学習に取り組むことができました。



◇ 12月の主な行事予定

- 12月 1日(金) 授業参観 個別懇談
- 12月 7日(木) 小・小連携(6年生)宮小
- 12月13日(水) 読み聞かせ(箱崎さん)
- 12月14日(木) 書き初め(山野先生)
お菓子作り体験教室



- 12月20日(水) ぼくとわたしのオーケストラ(音楽鑑賞)
- 12月22日(金) 第2学期終業式
- 12月23日(土)  天皇誕生日
- 12月24日(日) 冬休み ~1月9日(火)